



# 江別ユネスコ協会事務局だより 2015年4月7日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6 教育委員会生涯学習課内(担当・石津☎381-1069)

## 今年の第39回世界遺産委員会はドイツのボンで開かれます

今年の世界遺産委員会は6月28日から7月8日までの日程で、ドイツ西部の都市ボンのワールド・カンファレンス・センターで開かれます。議長国はドイツで、議長はマリア・ボーマー教授がつとめます。副議長国はクロアチア、インド、ジャマイカ、カタール、セネガルの5か国。書記国はレバノンが担当します。委員国はこれらも含めて21か国で、日本や韓国も入っています、日本は今年で任期切れになります。

世界遺産委員会の一番の役割は、①各国から推薦された候補物件の審議を行い、新たに世界遺産に登録するものを決定すること。②登録されている世界遺産について、危機遺産への指定や指定の解除、世界遺産からの抹消を決定すること。③各国からの支援要請に対して、世界遺産基金の運用方法の審議。一などで世界遺産制度の運営上最も重要な会議です。

どの国が委員国になるかは、「世界遺産条約締約国会議」において決定されますが、その選出のルールが、次回の委員会から変更されます。現在は世界を6つの地域に分け、各地域から1か国を選び、あとは全体から15か国を選出して、合計21か国で構成しています。次回からは、6つの地域割りは同じですが、まず各地域から2か国ずつを選び、更にアジア・太平洋地域にはプラス1か国を、アフリカ地域にはプラス2か国を加えます。それに、ラテンアメリカ・カリビアン地域またはアジア・太平洋地域のいずれかから1か国を選びます。最後に全体から5か国を選出して合計21か国にするという方法です。

数の上からはアフリカとアジアが有利になりますが、やってみなければ分かりません。東西ヨーロッパが手をこまねている訳がないと思われず。そのほか、世界遺産ゼロの国から1か国選んでいたのを止め、初登録国の中から最低1か国を選出することに変更しました。「地域的な公平性」を重んずるあまり「学問的な専門性」に乏しい国ばかりが委員国になると、世界遺産条約の根幹が崩壊する危険性があると、心配している専門家は少なくないようです。

## 第2回高校生カンボジア・スタディツアー参加者募集！

日本ユネスコ協会連盟は、2014年度に引き続き、高校生を対象にしたカンボジアへのスタディツアーを、2015年8月に実施します。国際協力の現場や、世界遺産など伝統文化の息づく村々において、現地に暮らす人々との交流やボランティア体験を通して、教育や文化の面からカンボジアの抱える課題を積極的に学び、行動に生かす高校生の参加が望まれています。募集人員は10名で、実施日程は2015年8月12日(水)～21日(金)の期間です。応募の締切りは、5月15日(金) [日本ユネスコ協会連盟・必着] となっています。

当協会では江別市内の各高校を通じて、意欲的な高校生の参加を勧誘しています。ユネスコ会員や関係者の子弟など適任者がおられましたら、所属の高校へ申し出て、参加の手続きをとるようにお勧めください。

## 「第71回日本ユネスコ運動全国大会 in 和歌山」に参加しよう！

2015年度の全国大会は、6月6日(土)～7日(日)に、和歌山市民会館大ホールで開催されます。大会テーマは「持続可能な平和のために！～‘会話’を広げるユネスコ～」です。参加申込みの締切りは4月13日(月)ですが、遅れても申込みます。(ただし参加者名簿にはお名前が載りません。)当日、会場でも「現地登録」ができますので、美しい初夏の和歌山をぜひ訪れてください。

